安全性の確保等に関する事項案

<研修カリキュラムと研修機関の登録要件について>

○ 研修カリキュラムの種類

- (1) たんの吸引及び経管栄養について、対象となる行為のすべてを行う類型
- (2) たんの吸引(口腔内及び鼻腔内のみ)及び経管栄養(胃ろう及び腸ろうのみ)を行う類型
※ 気管カニューレ内のたんの吸引と経鼻経管栄養を除いたもの
- (3) 特定の利用者に対して行う実地研修を重視した類型
※ 対象となる行為のうち研修を実施した行為について実施可能

○ 研修機関の登録要件・研修の実施方法

- ・ たんの吸引等に関する法律制度及び実務に関する科目について研修を行うこと
 - ・ たんの吸引等の実務について、医師、看護師等が講師となること
 - ・ 研修を受ける者の数に対し十分な数の講師を確保していること
 - ・ 研修に必要な器具等を確保していること
 - ・ 研修の安全管理体制等を定めた業務規程を定めること
- ※・研修の場所・実施方法 ・安全管理体制 ・料金・受付方法 ・業務上知り得た秘密の保持 ・業務に関する書類の保存等
- ・ 研修の各段階毎に習得の程度を審査すること
 - ・ 他の種類の研修等により知識・技能を修得している者には研修の一部を免除できること

<実施機関の登録要件（医療関係者との連携等）について>

○ 医療関係者との連携に関する事項

- ・ 医師の文書による指示
- ・ 介護職員と看護職員等との間での連携体制の確保・適切な役割分担
 - ※ 心身の状況に関する情報の共有等
- ・ 個々の対象者の状況に応じ、たんの吸引等の実施内容等を記載した計画書を作成
- ・ たんの吸引等の実施状況を記載した報告書の作成と医師への提出
- ・ 緊急時に適切に対応できる体制
 - ※ 状態が急変した場合の医師等への連絡体制の整備等
- ・ 業務の手順等を記載した業務方法書の作成

○ その他の安全確保措置等

- ・ たんの吸引等に関する記録が整備されていること
- ・ 医療関係者を含む委員会の設置その他の安全確保のための体制の確保
- ・ 必要な備品等の確保
- ・ 器具の衛生的な管理等の感染症予防の措置
- ・ 計画書の内容についての本人や家族への説明・同意
- ・ 業務上知り得た秘密の保持
- ・ 各事業所の業務に応じた実践的な研修